

# 報告書を提出しました

神崎中学校区

適正配置地域協議会

だより

第 10 号  
平成27年11月



神崎中学校区適正配置地域協議会 月十三日には、稲生会長、幸野は平成二十六年七月に発足し、小学 副会長、伊藤副会長の三名が大校の統合と統合後の通学支援や学校 分市教育委員会を訪れ、三浦教運営などについて各校区の代表者、 育長に報告書を提出しました。保護者、学校関係者等で協議を重ね 報告書に記載された合意事項はてきました。十月六日に開催された 次のとおりです。また、報告書第十回の協議会において報告書が異 の概要は三面以降に記載して協議なく承認されました。その後、十 ます。

○統合の時期については、木佐上小学校は平成二十七年四月、大志生木小学校は平成二十八年四月とする。

○統合後の学校が目指すべき方向性として、小中一貫教育については、現在取り組んでいる連携型小中一貫教育と併設型小中一貫教育について、本校区の実情を十分に勘案した上で魅力ある学校となるよう検討していただくことで、大分市教育委員会の決定に託する。

小規模特認校制度については、本校区の児童生徒数の減少傾向が予想されることから、制度の導入を希望する。

○統合に伴う通学支援については、定期運行のバス等定期旅客運賃額の支給、自動車利用に伴う燃料費補助、教育委員会によるスクールタクシー等の運行とする。支援方法については、各家庭による選択制とし、通学支援期間は、統合年度から十二年間とする。

## 【お礼のことば(抜粋)】

### ○稲生会長

統合すれば決着ではありません、これから6年後には、ぐっと子どもたちが減るといふ実態がありますので、どういふ学校を今後つくっていくかといふことも最後に議論できて、教育委員会を信頼して、こうざき小学校が傾く事がないように我々も地域で頑張っていくので教育委員会に積極的な姿勢を示して整備を図っていただきたい。これが願いであります。

それから早速ですが、こうざきでは校区公民館が建設中で11月初めにオープンします。それを記念して校長先生と相談しまして、公民館完成のイベントの大きなものとして、津久見の檜の実少年少女合唱団をお呼びして、大志生木の子どもさんにも来てもらって、統合が成功することを願うとともに、統合することで新たな感動や体験がたくさんあることをお示しするために、一つのプレゼントをこうざき校区で準備をしています。さらには小中一貫校の賀来小中学校の校長さんにも来ていただいて講演をしてもらうというような、いろんな試みを準備しております。これから木佐上、大志生木と一体となって地域がこうざき小を盛り上げていくということで進めて行きたいと思ひます。そのきっかけにこの会がなればありがたいと思ひであります。



(会長の稲生亨氏)

### ○幸野副会長

昨年7月、第1回から今回の第10回まで神崎中学校区適正配置地域協議会の協議をしていただき、そして3小学校が統合といふ、そういう合意を得られたといふことの中で、小学校の方向性といふのも出来たといふことで、皆様方のご協力、ご支援のもとで出来た事を本当にお礼を申し上げたいと思ひます。1年間大変お世話になりました。



(副会長の幸野和夫氏)

### ○伊藤副会長

地域協議会におきましては、積極的、建設的なご意見をいただき、よりよい結論が得られたことについては、皆様方のご協力の賜物であると感謝しております。ありがとうございました。

地域から小学校がなくなることは大変悲しいことです、寂しいことです。しかしながら子どもたちの将来、保護者の方の負担を考慮して地域及び協議会、保護者会等の協議を経て、ベストな選択が出来たと思っております。

今後はこうざき小学校として、近隣からも多数の児童の入学が可能な魅力ある小学校にしていくために、皆様方をはじめ、学校、PTA、地域が一体となって一致団結し、協力していく事を切望いたします。



(副会長の伊藤一亀氏)

### ○大分市教育委員会 澁谷教育部長

稲生会長さま、幸野副会長さま、伊藤副会長さまをはじめ、神崎中学校区適正配置地域協議会の皆様方におかれましては、平成26年7月以来、本日に至りますまで計10回にわたるご協議を経て、本日協議会としての報告書をまとめていただき、深く感謝申し上げます。

学校は教育施設であると同時に、地域にとりましてはコミュニティの核となる施設でもございます。こうしたことから、地域の皆様方にとりましては、地域から学校がなくなることは、地域コミュニティの活性化の観点から、大変重要な問題でもありますが、本協議会におかれましては、この間、常に子どもたちにとってより良い教育環境をつくることを第一義に据えてご協議いただきました。こうしたご協議を経まして、統合の時期や統合後の学校教育の方向性などに関し、協議会としての合意を形成していただきましたことに対し、重ねて敬意と感謝の意を表したいと存じます。

この1年4ヶ月の間にご協議いただき、協議会としての合意を形成いただきました内容やご要望につきましては、教育委員会といたしましてもしっかりと受け止め、十分に検討をさせていただき、そのうえで、当校区の子どもたちの健やかな成長を支える豊かな教育環境を創造してまいりたいと考えておりますので、委員の皆様方には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 報告書の主な内容

### ○地域協議会としての合意事項 (1面に記載)

### ○地域協議会の取り組みの概要

本中学校区の3小学校は、今後も児童数の減少傾向が予想されており、集団の機能を生かした教育活動を日常的に実践することが困難になるなどの厳しい現状を認識してきた。

このような中、大分市教育委員会が策定した「大分市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、木佐上小学校、大志生木小学校の2小学校をこうざき小学校に統合し、神崎中学校との小中一貫教育の充実を図るとともに、小規模特認校制度の導入を検討することなどについて、地域協議会の協議を開始した。

統合の時期については、平成26年10月に木佐上小学校区から、児童数の減少により平成27年3月末まででこうざき小学校と統合することの意向が示された。その後、平成27年5月には大志生木小学校区についても同様の理由により、平成28年3月末までで統合することの意向が確認された。

また、小中一貫教育や小規模特認校制度については、平成26年11月に併設型小中一貫教育校である賀来小中学校や小規模特認校である神崎小学校を視察するなどの取組を行い、協議を行ってきた。小中一貫教育については、併設型小中一貫教育のメリットは理解でき大きな効果が期待できるものの、本校区でもうまいくのかといった不安もあり、大分市教育委員会の決定に託することで合意を形成するに至った。

統合後の学校については、これまで以上に3校区が連携し、学校運営を継続的に支える覚悟であり、保護者・地域の願いも実現できるような学校となるよう、切に願うものである。

### ○地域協議会の取組

神崎中学校区では、平成26年7月に、地域住民の代表者や保護者、学校関係者等で構成する「神崎中学校区適正配置地域協議会」を組織した。

本地域協議会は、木佐上小学校、大志生木小学校の2小学校をこうざき小学校に統合し、神崎中学校との小中一貫教育の充実を図るとともに、小規模特認校制度の導入などについて検討するため、各校区において意見のとりまとめを行う中で、これまで約1年4ヶ月の間に、計10回の会議を行った。

神崎中学校区適正配置地域協議会は、委員30名で構成され、10回の地域協議会を開催した。その他にも視察や校区単位での協議、PTA総会等での説明会なども行ってきた。

また、開催の都度、地域協議会だよりを発行し、小中学校の保護者家庭全戸に配布するとともに、地域住民の方々にも回覧板等を利用するなどして、協議の様子をお知らせするように努めた。

### ○要望事項

- 大分市教育委員会においては、本報告書を熟慮いただき、学校、家庭、地域社会が協力し合い、神崎中学校区の子どもたちの健やかな成長を支える豊かな教育環境を創造するよう、本校区の意向を受け止め実施計画を策定していただきたい。
- 大分市教育委員会が策定した「大分市立小中学校適正配置基本計画」に記載してある神崎中学校区の「目指すべき方向性と具体的方策」については、今後の児童数の推移及び統合後の子どもや学校運営への影響を十分に考慮して、大分市教育委員会の責任において実施時期を実施計画に明記していただきたい。
- 実施計画策定後は、保護者や地域住民、学校関係者等に対して説明を行い、広く理解を得るよう努めていただきたい。
- 統合後の学校のあり方に関しては、引き続き、保護者や地域住民、学校関係者等の意見を聞きながら丁寧に協議を進めていただきたい。その際、新たな学校名、校章、校歌についても協議に応じていただきたい。
- 統合後の学校については、学校・家庭・地域が連携・協働し、これまでの3校区の地域の力を学校教育の充実に生かすとともに、地域の活性化にも繋がるよう、学校

を保護者・地域住民が一体となって支える新たな仕組みづくりを検討していただきたい。

- 統合後においても木佐上校区、大志生木校区については、防災や地域コミュニティなどの観点から、学校施設の有効活用のあり方に関して、当該校区住民との協議の場を設けるとともに、関係部局とも連携しながら、十分に検討していただきたい。
- 統合に伴う通学支援については、保護者に新たな負担が生じないよう配慮をしていただきたい。
- 統合に伴い児童の通学環境や生活環境は大きく変化することから、県道715号線の幸崎駅周辺や路線バス停留所の改善、防犯灯の設置などの通学路の安全確保について、学校、地域住民と連携しながら、関係機関と取り組みを進めていただきたい。
- こうざき小学校については、統合により児童数が増加するとともに、スクールタクシーや自家用車で登校も予定されていることから、校舎からプール・体育館への移動に係る改善、スクールタクシーの乗降場所の確保などの環境整備に取り組んでいただきたい。  
また、スクールタクシーの運行に当たっては、児童の安全確保のため、停留所や経路に十分配慮していただきたい。
- 統合後の学校については、魅力ある教育活動を展開し、確かな学力の定着・向上に努めるとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実が図れるよう配慮していただきたい。  
また、伝統ある大志生木小学校のソフトテニスの活動が継続できるよう、統合校などにコートを整備などを配慮していただきたい。



報告書の提出のあと、協議会の代表者と三浦教育長とで、統合後の学校への思いなどについての意見交換が行われました。

## 第10回地域協議会での確認事項等

- ◆報告書について、修正案どおりとすること。
- ◆平成27年10月13日に会長、両副会長から、大分市教育委員会教育長へ報告書を提出すること。
- ◆実施計画の作成過程において、報告書の反映状況を神崎中学校区適正配置地域協議会委員に説明すること。
- ◆第10号の協議会だよりは、市報11月15日号と同時期に回覧すること。

### < 事務局より >

第10回の地域協議会をもって、地域協議会での会議は終了となりました。協議会だよりも第10号で終了とさせていただきます。

今後は、平成28年度から新たに始まる「統合後の学校のあり方に関する協議」について、地域の皆様に適宜お知らせしてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

神崎中学校区適正配置地域協議会だより「第10号」

発行：平成27年11月

発行者：神崎中学校区適正配置地域協議会

事務局：大分市教育委員会教育企画課

連絡先：(住所) 大分市荷揚町2-31

(TEL) 097-537-5903(直通)

(E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp